

SKY DOG SPORT

vol.3

I'm Winner



世代別健康管理食

チョイス

PG
Santa Mon

Kod

2003年 日本フリスピードッグ協会
公式選手権開催日程 1・2月度

◎開催確定 ○開催内定調整中 △開催予定

1月11日(土)～12日(日) ◎千葉県野田市

会場：野田市スポーツ公園芝生広場

公式シリーズ選手権（第1戦）／公式フリーフライト選手権／ほか

1月13日(祝)

◎兵庫県神戸市

会場：神戸ポートアイランド芝生広場

公式シリーズ選手権（第2戦）／公式フリーフライト選手権／ほか

1月18日(土)～19日(日)

◎福岡県粕屋郡宇美町

会場：ゆりが丘総合スポーツ公園多目的広場

公式選手権／ほか

1月25日(土)～26日(日)

◎兵庫県赤穂郡上郡町

会場：播磨科学公園都市内芝生広場

公式シリーズ選手権（第3戦）／公式フリーフライト選手権／ほか

2月8日(土)～9日(日)

◎埼玉県さいたま市

会場：秋ヶ瀬運動公園三ツ池グランド

公式シリーズ選手権（第4戦）／公式フリーフライト選手権／ほか

2月15日(土)～16日(日)

○静岡県浜北市

会場：天竜川運動公園

公式シリーズ選手権（第5戦）／公式フリーフライト選手権／ほか

2月22日(土)～23日(日)

△熊本県

公式選手権／ほか

2月22日(土)～23日(日)

◎The Ashley Whippet Invitational Canine Frisbee Disc
World Championships

アメリカロサンゼルス ラ・ミラダ

フリーフライト部門／ディスタンス部門 世界一決定戦

JFAメンバーの皆さんへ

2002年も残すところあとわずかとなりました。1994年にフリスピードッグという競技を日本に正式導入して以来、9回目のジャパンファイナルを開催する事ができました。その間、メンバーの皆さん、選手の皆さんをはじめ数多くの企業の方々にご協力を頂きました。2000年より3年間にわたり多大なるご支援を賜りました蝶理株式会社（ファーストチョイス）様を始め、国際ペットワールド専門学校、株式会社ネットワーク（ドッグデプト）様にはこの場をかりまして感謝を申し上げたいとおもいます。

今年度のジャパンファイナルはJFAにとって特に記念すべき大会となりました。ゲストとしてアメリカフリスピードッグ創始者のひとりでもあり遠投競技（ロング）の初期世界記録保持者のエルドン・マッキンタイア氏（他創始者、フリスピードッグ世界最高峰選手権・アシュレイウィペットワールドチャンピオンシップ競技会、元会長アープランダー氏〔故人〕・アレックスステイン氏）とフリスピードッグ遠投距離118.9mの記録保持者マーク・モルナー氏の来日でした。それは4日間という短い滞在でしたが私達にとても有意義な時間を提供してくれたことです。JFAのシステムに関する評価は過去のワールドチャンピオンシップと比べても見おとらないほどすばらしい大会であると感激をしておりました。そしてJFAメンバー皆さんに対する競技マナーのすばらしさでした。今回のジャパンファイナルは9年間の全ての競技会の中でも最悪のコンディション（暴風雨）でした。にも関わらず選手の皆さんのがいかなるコンディションの中でも楽しんでいる姿がアメリカ以上との感想をもらしておりました。また、現在のアメリカの競技会状況やここ数年間の出来事等など我々の知り得ないことばかりでとても驚かされました。まさに百聞は一見に如かずとはこの事でした。

さて、2003年は、いよいよ設立より数え10周年となります。来年より新しく活動パートナーにネスレピュリナペットケア株式会社様のご協力をいただける事になりました。また、伝統のフリスピードッグ世界一決定戦・アシュレイウィペットワールドチャンピオンシップ（略称）からの日本代表選手招待もいただけることにもなり、スタッフ一同記念大会に向け皆様に充実した1年となりますようがんばらせていただきます。

本年度の多数のご参加ありがとうございました。また2003年1月、競技会フィールドでお会いしましょう。

日本フリスピードッグ協会本部事務局

2003年度から日本フリスピードッグ協会ならびに会員の皆様方と一緒に活動させていただくことになりました、ネスレピュリナペットケア株式会社の平野でございます。よろしくお願い申し上げます。

今回、協賛をさせていただくにあたり、私も何度か愛犬ダンボ（ラブラドールレトリーバー）と共に競技を観戦させていただきました。会場で私が目にしたのは皆様方の高度な技だけでなく、楽しそうで、活気に満ち溢れた姿でした。フリスピードッグが単なる遊びではなく、キンシップ、また愛犬のしつけに非常に効果的であることを改めて実感致しました。また、競技に参加している愛犬達が人間のアスリートのごとく、シェイプアップされた理想的な体型をしていることに非常に感激しました。その上、私のダンボもインストラクターの方に、簡単なレッスンをしていただき、大変楽しい時間を過ごすことができました

このフリスピードッグという競技の本当の良さがより多くの方にご理解頂くと共に、犬のしつけの向上につながるよう、微力ながらサポートさせていただければ幸いと思っております。

さて、私たちの会社について簡単にご説明したいと思います。

我社は平成14年9月、ラルストン・ピュリナ社との合併によりフリスキーリー株式会社からネスレピュリナペットケア株式会社に社名変更いたしました。このペットケアという言葉には非常に重要な意味が込められています。

我社の母体となるネスレ社は、乳児用シリアル食品の販売を創業の起源としています。そこには、赤ちゃんに注ぐ母親の愛情“ケアリング”という思想が連綿と流れており、そのDNAを受け継いでいる我社も、ペットに対する愛や思いやりを常に心がけ、飼い主の愛情と信頼に応える製品を作り続けています。私たちは、ペットフードを“餌”ではなく、“Food For Dog” “Food For Cat”という考え方をベースにし、ペットの健全な食生活を支える食品であると認識しています。少子高齢化が進む中で、ペットはますます重要な存在意義をもつようになりました。都市生活における癒しや潤いといった心理的な面はもちろん、これから社会を担ってゆく子供達に生命の尊厳を見守り、心やさしいヒューマニティーを育てるためにもペットの飼育が注目されています。私たちは、家族の一員とも言えるペットの健康や育成に大きな関わりをもつ企業として、誠実かつ真摯な態度で事業に取り組み、名実ともにNo.1のペットフード会社へと歩を進めてまいりたいと思っております。

最後になりましたが、皆様方の益々のご活躍と、日本フリスピードッグ協会様のご繁栄を心からお祈り致します。

ネスレピュリナペットケア株式会社 代表取締役社長 平野 誠

「アッサムの冒険」 ～ある犬の成長日記～ 第2回

＜戦争が始まった＞

アッサムは、新潟県新潟市から埼玉県所沢市へ、私の花嫁道具のひとつ（？）としてやって来た。

車で長距離を移動する時も粗相もせず、車酔いすることもなく「いい子をもらった」と喜んだものだった。新居に着いたその夜、初めてのひとり寝に、あきらめるまで悲しい声で泣いていた。

翌日からが戦争だった。

アッサムはまだ生後60日の子犬。覚えさせなければいけないことは山ほどある。まず、トイレだ。私はいつになく早起きして、初めてのオシッコは無事に犬トイレで成功。でも、ウンチはまだだ。それじゃあ先に朝ごはん、と仕度をする。アッサムの食事は、ブリーダーさんが食べさせていたフードと同じもの。それに、1ヶ月だけ粉ミルクをかけていた。山盛りのフードをペロッとたいらげる。食欲充分。環境の変化にもストレスはないようだ。よしよしと気を緩めて食事の後片づけをしていると、何やら匂いが。「あっ！」と思ったが遅かった。ウンチは失敗。しかも、トイレとは全々違う所で。だが、まだ初日。最初から何もかも上手くはいかない、と自分を慰めた。

さて、次はグルーミングだ。本で読んだ通り、ブラシをかけ蒸しタオルで全身をふいてやる。が、まだ小さいアッサムの体に、ブラシが大き過ぎてよくブラッシングできないのだ。まあ、コミュニケーションのひとつ、小さい頃からの習慣づけ、と自分を納得させた。これは、今でもよかったと思っている。

さあ、ここからがお楽しみタイム。犬を飼った醍醐味、遊びの時間だ。リビングを追っかけっこしたり、ボール遊びをしたり。私は満足。アッサムはぐったり。

そして、お昼寝。いえいえ、アッサムではなく私のです。何しろ、朝からてんてこまいだったのだから。

夜、主人が帰ってきて今日一日の報告をする。私が遅がるごはんの間、アッサムは足元でくつろいでいる。家族が1人増えるだけで、こんなに豊かで楽しい時間が過ごせるなんて夢のよう。11時にはハウスに入れて、1日が終わった。

＜ウンチかぶり姫＞

事件が起きた。アッサムが我が家に来て3日目。今日も早起きして2階の寝室から降りようとすると異臭がした。仕方ない、まだ子犬だもの、と思った私の目に飛び込んできたのは、ハウスの中で頭からウンチをかぶったアッサムの姿だった。



まだ来たばかりのアッサム。目に不信感があり、ジトッと目線を向ける。

犬はきれい好きだと聞いていた。大人になっても使える大きなハウスに、ウンチをしたとしても、する場所と居住スペースを分けるからだいじょうぶとブリーダーさんに言われて、たかをくくっていた。だが、アッサムはただ者ではなかった。その日以来、いくら早起きしても、ウンチをかぶっていた。「灰かぶり姫」ならぬ「ウンチかぶり姫」だった。そして、昼間のウンチ、オシッコもだんだん粗相するようになっていた。今思えば、私をバカにしていたのだ。

アッサムをもらい受け1ヶ月が過ぎようとしていた。たまりかねて、新潟のブリーダーさんに電話で相談した。

驚かれた。もうその日数なら、ちゃんと我慢できるはず。朝、ハウスから出したらすぐ遊ばせないで、まず排泄させる。その習慣が大事と言われ、まずトイレをお風呂場に移した。ハウスから出すトリードをつけてお風呂場へ直行。ドアを閉め切って、ふたりでにらめっこ。「ウンチをするまでここを出さないからね。」と言い放ち、1時間ねばった。が、初日はダメだった。

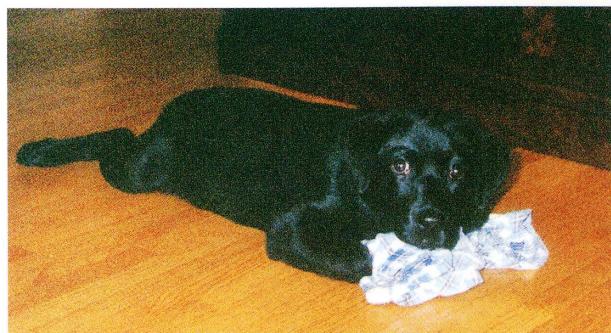
その後も毎朝のようにウンチかぶりが続いた。結局、ウンチで遊んでいるのだ。これは、アッサムと私の根比べ。毎日シャンプーし、ハウスをきれいに洗い、清潔なことは気持ちいいのだ、と根気よく教えるしかなかった。

そのうち、自分でも気持ちいいことが分かってきたのか、我慢できずにウンチをしても、ハウスのタオルでくるむようになった。そして、段々とお風呂場がトイレの場所と分かり始め、ちゃんとオシッコもウンチも風呂場のトイレでできるようになった。長い戦いだったが、ようやく光が見えた感じだった。ウンチかぶり姫からの卒業だ。

けれどアッサムの名誉のために言うと、アッサムは「座れ」と「待て」は1日で覚えた。本を参考に、食時タイムを使って覚えさせた。食器を高く上げると自然に座れの格好になる。そこでよく讃め、「座れ」の号令を出した。そして、手を顔の前に出し「待て」をかける。これもすぐ理解した。段々時間を延ばしても待てるようになった。ただ、「フセ」だけは時間がかかったけれど。

こうやって、しつけの第一歩であるトイレを覚え、私とアッサムの間に少しずつではあるが信頼が生まれていった。

(つづく)



我が家に来てしばらくたった頃。安心感と私を認識している表情がある。

「Ya-Ya-Ya, ～ジャパンファイナルがやってきた」

「ジャパンファイナル2002」。それは嵐とともにやって来た。

昨年に引き続き、新潟市での開催。成功を願っての前日の設営日。小春日和の天気の中、この天気がもつてくれればと思う。しかし、天気予報では雨。せめて小雨で、と祈る。

ジャパンファイナル1日目。

雨は降らなかった。薄日も射し、ギャラリーも多くつめかけた。

が、もの凄い風、風、風。おおかぜ大風が選手達を苦しめる。

ロングディスタンス予選では、フリスビーが飛び過ぎ犬達が追いつけない。記録を出す以前に、犬がキヤッチできないのだ。

レディース選手権も混戦だった。

追い風のスタート地点から、やはりディスクが飛び過ぎ、犬とディスクのタイミングが合わない。ポイントが伸びず、誰が優勝するのか予想がつかない。

そんな中、第2ラウンドはスタート方向を選手が選ぶことになった。ほとんどの選手が追い風を選択する中、唯一、田口佳奈選手だけが向かい風を選び、周囲を驚かせた。しかも、高ポイントを獲得。結局、SENNAとのチームで、田口選手が小学生チャンピオンとして、女王の座についた。

1日目の夜には、ウェルカムパーティーが催され、bingoゲームやジャンケン大会で大いに盛り上がった。

パーティーが終わり外へ出ると、すでに小雨が降っている。明日が心配された。

2日目。今日はグランドチャンピオンシップにフリーフライトと大試合が並ぶ。

なのに、朝から大雨と凄い風が吹きつける。

試合が始まり益々雨がひどくなる。優勝候補が次々と0ポイントで敗退。フリスビーが雨と風に叩きつけられて、地面へと沈んでしまうのだ。だが、さすがにファイナルに残ってきた犬達。選手達の気持ちに応え、必死にフリスビーを追う。選手もズブぬれ、犬も泥だらけのファイトが続く。

事態を考慮して、全員が第2ラウンドへ。

各選手、やはり苦戦をしいられたがこの悪条件で実力を発揮し、見事、決勝を制したのは、井上弘之&ゆふチームに女神は微笑んだのだった。

ロングディスタンス決勝は、1日目の天候とはうって変わった大雨の中、各選手苦しんだ。結果、男子は鈴木敢&Ricksチーム、女子は石川純子&ジャッキーチームが制した。

コートのコンディションの結果、フリーフライトは残念ながら延期となった。

表彰式、閉会式が終わり、会場の後片づけも終わる頃、雨も上がり薄日が射してきた。午前の土砂降りが嘘のようだった。

まさに今年のジャパンファイナルは、嵐を呼ぶ大会だった。

※なお、フリーフライトは後日11月3日（日）兵庫県神戸市にて開催。この日も風が強かったが昨年のチャンピオンの意地をみせ高坂健一&Mousseチームが優勝となり2冠達成となる。

◆グランドチャンピオンシップ (2002年10月27日)

順位	氏名	県名	犬名	犬種	ポイント
優勝	井上 弘之	東京都	ゆふ	ボーダーコリー	48
準優勝	仲林 謙治	三重県	ロプロス	ドーベルマン	40
3位	八木 卓也	兵庫県	エビア	Aシェパード	38
4位	山口 裕二	神奈川県	さくら	ラブラドール	37
5位	若杉 美津夫	静岡県	メル	ボーダーコリー	36(7)
6位	原 英雄	滋賀県	パトラ	ボーダーコリー	36(5)
7位	新倉 謙吾	北海道	音々	ボーダーコリー	35
8位	石田 牧彦	栃木県	サラ	ボーダーコリー	27
8位	山口 裕二	神奈川県	こうめ	ラブラドール	27
10位	吉田 耕一	京都府	こはる	ボーダーコリー	26
11位	大塚 裕	埼玉県	JACK E Y	ボーダーコリー	25
11位	若杉 美津夫	静岡県	キャラ	ボーダーコリー	25
11位	萩原 聖	大阪府	ジャズ	ボーダーコリー	25
11位	村本 哲也	熊本県	チャコ	ラブラドール	25
15位	大塚 裕	埼玉県	BINGO!	ボーダーコリー	24
15位	間 謙永	福岡県	グラス	ボーダーコリー	24
15位	森 稔之	神奈川県	MISIA	ボーダーコリー	24
15位	水越 徹	東京都	せれ	ボーダーコリー	24
19位	田中 安夫	群馬県	エアリアル	ラブラドール	23
20位	和田 浩宜	広島県	七夕	ボーダーコリー	22
21位	三本 欽麗	東京都	カイザー・ソゼ	ボーダーコリー	21
21位	安田 信二	鹿児島県	天	ボーダーコリー	21
21位	福田 吉孝	神奈川県	メイリオン・ミック	ボーダーコリー	21
21位	野呂瀬 さゆり	神奈川県	パッセ	ボーダーコリー	21
25位	加部 真巳	大阪府	Ma i	ラブラドール	19
26位	三本 華余子	東京都	カイザー	ボーダーコリー	18
27位	小林 正弘	新潟県	ビビアン	ボーダーコリー	17
27位	森 正昭	京都府	ねむり	ダルメシアン	17
27位	加藤 典一	東京都	富士丸	ボーダーコリー	17
30位	安田 伸之	神奈川県	ガーフィー	ボーダーコリー	16
30位	野呂瀬 郁夫	神奈川県	パッセ	ボーダーコリー	16
32位	佐藤 茂	宮崎県	アール	ボーダーコリー	15
32位	大沢 弘和	北海道	サム	ボーダーコリー	15
32位	松尾 興	福岡県	ベル	ボーダーコリー	15
35位	安田 信二	鹿児島県	ハーツ	ボーダーコリー	14
35位	山本 栄治	兵庫県	ウィリー	グレイハウンド	14
37位	早川 利幸	千葉県	B E A T	ボーダーコリー	13
37位	宮迫 裕二	京都府	アイビー	ボーダーコリー	13
39位	須藤 充	新潟県	チット	ミックス	12
39位	坪井 俊雄	岡山県	トコ	ボーダーコリー	12
39位	飛弾野 文泰	北海道	ラン	ボーダーコリー	12
42位	萩原 聖	大阪府	マリア	ボーダーコリー	11
42位	野呂瀬 郁夫	神奈川県	プリエ	ボーダーコリー	11



(左より) 6位 原 英雄&パトラ
4位 山口裕二&さくら
準優勝 仲林謙治&ロプロス
優勝 井上弘之&ゆふ
3位 八木卓也&エビア
5位 若杉美津夫&メル
7位 新倉謙吾&音々

順位	氏名	県名	犬名	犬種	ポイント
44位	田口 久善	岡山県	LOVE	ボーダーコリー	8
44位	山六 靖孝	兵庫県	シンディー	ボーダーコリー	8
46位	大谷 光浩	東京都	いであ	ボーダーコリー	6
46位	友田 裕輔	奈良県	リラ	ラブラドール	6
48位	三本 欽麗	東京都	レイスター・ソゼ	ボーダーコリー	5
48位	上瀧 浩一	千葉県	ショーン・ケンプ	ボーダーコリー	5
48位	宇敷 朋久	東京都	ゆき	ボーダーコリー	5
51位	田中 安夫	群馬県	エアーウィング	ラブラドール	4
52位	丸島 康裕	千葉県	JANIS	ラブラドール	3
53位	稻葉 秀昭	滋賀県	ウィンク	ボーダーコリー	2
—	笠原 崇司	群馬県	ブライト	ボーダーコリー	
—	小寺 賢	東京都	LEE	ボーダーコリー	
—	団野 悅郎	大阪府	ケープ	ラブラドール	
—	前田 永吾	香川県	ねね	ラブラドール	
—	横山 泰久	高知県	ナミ	ボーダーコリー	
—	金子 浩一郎	埼玉県	アッシュ・ブルー	ラブラドール	
—	木田 高弘	愛知県	ロゼ	ボーダーコリー	





「あなたの夢は何ですかー？私の夢はこの人だー！！井上弘之＆ゆふチーム！」炎のMC、Mr.Yanがメダル授与式の選手紹介でくれたメッセージです。暴風雨の吹き荒れる中で、この言葉がずっと頭から離れませんでした。

よし！今日はこれまで応援してくれたみんなのためにプレイしよう！ここまで支えてくれたひろびん（←かみさんのことね）のためにプレイしよう！そして何よりDIZZYが教えてくれた楽しいプレイを、DIZZYが産んでくれたこの『ゆふ』といっしょにみんなに見てもらおう！」そんな決意のようなものが、沸々と沸いてくるのを感じながら出番を待っていました。

過去DIZZYと4回、ゆふと2回出場したファイナル戦ですが、いつも私の独りよがりで失敗して、本当に「楽しい」思いをしていなかった気がします。

1R、2R、決勝Rとコートの中で私はゆふと一緒にいました。そうだ、この感覚だ。97年DIZZY全盛期の一体感。忘れていたものをこの最高の舞台で取り戻したんです！

会場で一緒に喜んでくれたみなさん、各地で声援をくれたみなさん、本当にありがとうございました！

ひろびん、よくがんばったね。ありがとう。

ゆふ、楽しかったね。ありがとう。

DIZZY、言葉が見つからない…ありがとう！！

お前たちは本当のエンジョイフリスビードッグだ！！

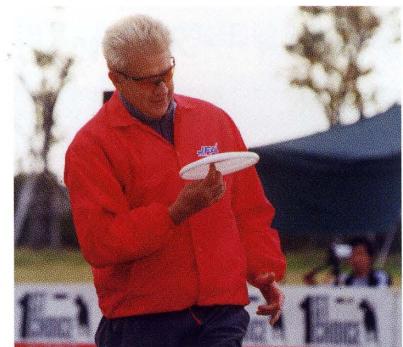
そしてこの3人が私の夢です…

（井上 弘之＆ゆふ）

◆フリー フライト チャンピオンシップ

(2002年11月3日)

※ 強風の為、翌週の神戸ポートアイランドにて開催



順位	氏名	県名	犬名	犬種	ポイント
優勝	高坂 健一	神奈川県	Mousse	ラブラドール	74.50
準優勝	林 康男	静岡県	愛鈴	ラブラドール	70.67
3位	安田 信二	鹿児島県	ハーツ	ボーダーコリー	67.83
4位	鈴木 ひとみ	東京都	Vivi	ボーダーコリー	63.17
5位	友広 祐也	北海道	マギー	ラブラドール	61.67
6位	小川 憲次	神奈川県	DAN	ボーダーコリー	60.00
7位	松尾 興	福岡県	ベル	ボーダーコリー	59.17
8位	原 英雄	滋賀県	パトラ	ボーダーコリー	32.50
9位	早川 利幸	千葉県	B E A T	ボーダーコリー	32.00
10位	飛弾野 文泰	北海道	紋次郎	ボーダーコリー	31.83
11位	横山 直正	静岡県	ATOM	ボーダーコリー	30.17
12位	横山 直正	静岡県	レオ	ボーダーコリー	30.50
13位	中尾 園枝	北海道	楓こ	ボーダーコリー	29.33
14位	横田 利丸	東京都	こなつ	ボーダーコリー	28.83
15位	松尾 至	長崎県	PLAY	ボーダーコリー	23.00
16位	団野 悅郎	大阪府	アニー	ラブラドール	22.50



(左より) 4位 鈴木ひとみ&ViVi
準優勝 林康男&愛鈴
優勝 高坂健一&Mousse
3位 安田信二&ハーツ
5位 友広祐也&マギー

今回のジャパンファイナルは、天候に左右された大会だった。

当初の開催地、新潟では、嵐のような天気でフリーフライトチャンピオンシップは延期となり新潟ではなく、神戸へフリーフライトファイナリストは集まった。

ここでも風が強くプレイヤーは苦労していたようだ。

僕は、「Mousseに絶対フリスビーを捕らせる」と言う事だけを考えて演技をした。1R・決勝R、はそれで良かったのだが…2Rでは、全国的にお馴染みの噛み癖が…恥ずかしかった。

結果、自分では駄目だと思っていたが優勝できた。

そして再び、世界への挑戦権を獲得した。

(高坂 健一&Mousse)



◆レディースチャンピオンシップ (2002年10月26日)

順位	氏名	県名	犬名	犬種	ポイント
優勝	田口 佳奈	岡山県	SENNA	ボーダーコリー	61
準優勝	杉山 美里	北海道	芽衣	ラブラドール	50
3位	小田島 ヒロ子	埼玉県	ヴィッツ	ラブラドール	34
4位	間 美加	福岡県	グラス	ボーダーコリー	33
5位	野呂瀬 さゆり	神奈川県	クリス	ボーダーコリー	32
6位	岡田 僚子	東京都	ルーガー	ボーダーコリー	24
6位	鈴木ひとみ	東京都	Vivi	ボーダーコリー	24
8位	田口 佳奈	岡山県	LOVE	ボーダーコリー	22
8位	大谷 靖枝	東京都	いであ	ボーダーコリー	22
10位	三本 華余子	東京都	レイスター	ボーダーコリー	18
11位	和田 孝子	広島県	七夕	ボーダーコリー	17
12位	河村 理恵子	兵庫県	ピース	ラブラドール	16
12位	吉田 恵子	愛知県	花梨	ボーダーコリー	16
14位	長谷川 政代	埼玉県	マリン	ボーダーコリー	14
15位	中尾 園枝	北海道	楓こ	ボーダーコリー	13
15位	大沢 久枝	北海道	サム	ボーダーコリー	13
15位	山口 佳代子	東京都	はな	ゴールデン	13
18位	松澤 典子	兵庫県	グレイス	ファラオハウンド	12
18位	萩原 多賀子	大阪府	ジャズ	ボーダーコリー	12
18位	平田 千香子	群馬県	AIMY	ラブラドール	12
21位	安田 教子	神奈川県	ガーフィー	ボーダーコリー	11
22位	片岡 千賀子	香川県	ゆ一り	ボーダーコリー	10
22位	山田 ヒロ子	岐阜県	Can2	Aシェパード	10
24位	金子 友美	埼玉県	アッシュ・ブルー	ラブラドール	8
25位	井上 裕子	東京都	ゆふ	ボーダーコリー	5
—	稻葉 有紀	滋賀県	ウインク	ボーダーコリー	
—	松尾 史恵	福岡県	ハリー	ボーダーコリー	
—	吉田 美嘉子	京都府	さくら	ラブラドール	
—	萩原 多賀子	大阪府	マリア	ボーダーコリー	
—	小畠 恵里	神奈川県	ハッピー	Aケルピー	
—	横山 まゆみ	高知県	ナミ	ボーダーコリー	

昨年のファイナルでは、LOVEと予選大会に出場しましたが、良い成績も残せずに悔いの残る結果となってしまい、とても残念でした。

しかし、「何事もチャレンジ！」と思い、今年はレディース選手権に出場することにしました。

でもまさか、1年目で優勝できるなんて思ってもいませんでした。これも、一緒にがんばってくれたSENNAのおかげです。

1才5ヶ月のSENNAは今年の5月～9月にかけて大会に行ったら走らない、スランプになってファイナルに出るのもむずかしいかな～と思っていたのに見事に復活してくれてSENNAに助けられて優勝することができました。小学校生活最後に、とても良い思い出ができました。

来シーズンも初心にかえってがんばりますので、よろしくお願いします。

(田口 佳奈 & SENNA)



(左より) 4位 間 美加&グラス
準優勝 杉山美里&芽衣
優勝 田口佳奈&SENNA
3位 小田島ヒロ子&ヴィッツ
5位 野呂瀬さゆり&クリス



◆ロングディスタンスチャンピオンシップ（男子）(2002年11月26日・27日)

順位	氏名	県名	犬名	犬種	記録
優勝	鈴木 敏	神奈川県	Ricks	ボーダーコリー	56.85m
準優勝	城本 英巳	北海道	果梨	ミックス	51.47m
3位	松尾 至	長崎県	GLAY	ボーダーコリー	44.80m
—	一柳 浩一	佐賀県	らぶ藏	ラブラドール	
—	一柳 浩一	佐賀県	らぶ菜	ラブラドール	
—	杉本 繁郎	北海道	ミキちゃん	ラブラドール	
—	宮永 修	長崎県	シェル	ボーダーコリー	
—	今村 英喜	熊本県	ウイード	ウィペット	
—	依田 充弘	静岡県	Hime	ラブラドール	
—	三木 久	山梨県	やまと	ゴールデン	
—	水越 徹	東京都	せれ	ボーダーコリー	
—	空野 正志	兵庫県	あなん	ラブラドール	
—	新倉 謙吾	北海道	みこちゃん	ラブラドール	
—	飛弾野 文泰	北海道	ラン	ボーダーコリー	



投げ手 鈴木 敏 35才♂ 性格 負けず嫌い
趣味 バイク&車 相方 Ricks (リックス) 1999.5.23生 3才5ヶ月♂
性格 ヤンチャでパワフルなやつ、でも気が優しくてフレンドリー
趣味 フリスビー

フリスビー歴 2年 2001年JFA本格的に参戦

去年ジャパンファイナルの後から、大好きなフリスビーを突然追わなくなり今年の春頃まで思考錯誤しながら大会に参加していました。夏前に今までどおりの大好きなフリスビーをガンガン追って走り回るリックスに戻ってくれて一緒に楽しく遊ぶ事が出来る様になってホッとしています。今年のファイナルは、前半戦の成績＆日程的に難しいかな?と思っていましたが、2年連続してジャパンファイナルに出場し大会を楽しむ事が出来ました。今回は、天候に苦しめられましたがリックスの快足にフォローされて優勝できました。次は、自分が悪条件でも動じない投げ方・リックスが取り易いフリスビーを投げる様に頑張って来年のファイナル＆高記録にリックスと共にチャレンジして行きたいと思っています。

最後に、今回ロングディスタンスチャンピオンになれたのも友人、指導・相談に乗って下さいました方々ならびに御声援下さった方々が居たからこそなれたと思っております。この場を借りて心より感謝申し上げます。有難う御座いました。
(鈴木 敏&Ricks)



(左より) 準優勝 城本英巳&花梨
優勝 鈴木 敏&Ricks
3位 松尾 至&GLAY

◆ロングディスタンスチャンピオンシップ（女子）(2002年11月26日・27日)

順位	氏名	県名	犬名	犬種	記録
優勝	石川 純子	神奈川県	ジャッキ～	ボーダーコリー	54.34m
準優勝	和田 孝子	広島県	来夢	ボーダーコリー	41.19m
3位	横山 幸子	埼玉県	サクラ	ラブラドール	37.83m
—	横山 まゆみ	高知県	ナミ	ボーダーコリー	
—	半明 知佳	香川県	アール	ボーダーコリー	
—	松尾 史恵	福岡県	ハリー	ボーダーコリー	
—	横山 まゆみ	高知県	アクセル	ボーダーコリー	
—	島田 瑞穂	神奈川県	優鈴	ボーダーコリー	
—	松尾 直美	長崎県	GLAY	ボーダーコリー	
—	三木 かおる	山梨県	やまと	ゴールデン	
—	山田 ヒロ子	岐阜県	Max	ボーダーコリー	

(左より)
準優勝 和田孝子&来夢
優勝 石川純子&ジャッキ～
3位 横山幸子&サクラ



(一部、プロジェクトX風に)

その日はかなり強風だった。適度な風は味方になるが、ここまでくると脅威だ。「記録なし」が相次ぐ。これまでの練習のことを考えると「記録なし」だけはどうしても、避けたかった。私としては弱気なスローだったと思う。それでも強風にあおられフリスビーはかなりの速さでぶっ飛んでいた。あとはジャッキ～頼み。小さくなる彼のうしろ姿を祈るような気持ちで見ていて、彼のキャッチしたのを確信したのは周りの歓声が聞こえてからだった。フリスビーをくわえ必死に戻ってくるジャッキ～の姿に、心が震えた。

新潟での強風はある程度は想定していましたが、当日のコンディションは本当に厳しかったです。練習のとき、他の出場者の方もガンガン飛ばしており「これでは犬が追いつかない」とわかつていながらもペースを崩してしまいました。夫や友人に「力みすぎてフォームが崩れてしまう」と指摘され、力を抜くことができたことが良かったのかもしれません。

「ジャパンファイナル」…遠征の苦手な我家には開催地の心配もあり、まるでひとごとのような気分でした。それでも夫とジャッキ～(?)との家族会議の結果、「一生に一度かもしれないから」…ということで行くことにしたのですが、よい結果を出せて本当にやってよかったです。

最後に…練習をつき合ってくれた仲間達、アドバイスをくれた方々、ありがとう。そして、とーちゃん、ジャッキ～、とびっきり素敵な体験をさせてくれて本当にありがとう。家族の宝物にしようね。

(石川 純子&ジャッキ～)

◆男女ペアの部 (2002年10月26日)

順位	氏名	県名	犬名	犬種	ポイント
優 勝	木田 美花 木田 高広	愛知県	ロゼ	ボーダーコリー	43
準優勝	新倉 弥生 飛弾野 文泰	北海道	ラン	ボーダーコリー	34
3位	大沢 久枝 水越 徹	北海道	サム	ボーダーコリー	33(14)
4位	中尾 園枝 小川 憲次	神奈川県	DAN	ボーダーコリー	33(12)
5位	鈴木 史花 山口 裕二	神奈川県	こうめ	ラブラドール	23
6位	上野平 ミユキ 上野 平寛	佐賀県	ラリー	シェルティ	20
7位	安田 教子 安田 伸之	神奈川県	ガーフィー	ボーダーコリー	17
8位	水越 里絵 安田 伸之	東京都	せれ	ボーダーコリー	15
8位	河村 理恵子 斉藤 浩之	兵庫県	ピース	ラブラドール	15
10位	小田島 ヒロ子 横田 賢二	埼玉県	ヴィッツ	ラブラドール	10
11位	松澤 典子 仲林 謙治	兵庫県	グレイス	ファラオハウンド	8
—	山口 佳代子 宇敷 朋久	東京都	ゆき	ボーダーコリー	



(左より) 準優勝 新倉弥生・飛弾野文泰＆ラン

優 勝 木田美花・木田高広＆ロゼ

3 位 大沢久枝・水越 徹＆サム



1日目も、高くジャンプしてキャッチしたがるロゼには苦手な強風が吹き荒れる中、出番前は不安でしたが、今回、ロゼの調子も良く、しっかりキャッチしてくれました。

普段は投げ手のハートが弱いのが災いしてここぞという時にスローが崩れる傾向があり、ロゼの足を引っ張っていますが、今回はペアということで一人でコートに入るよりは緊張しなかったのが良かったと思います。

今シーズン公式に参戦したばかりでJapan Finalにノミネートされただけでもとても光栄でした。運に恵まれ優勝できたことを本当にうれしく思います。

ロゼは、大会会場や声援が大好きなので、これからも皆様に拍手をいただけるように、がんばっていきたいと思います。

ご声援いただいた方々、優勝おめでとうコールをいただいた地元・愛知勢の方々、FKDCや曲者軍団の皆様、熱い応援でここまでこれました！本当にありがとうございました！これからもよろしくお願いします。

(本田 美花、本田 高広&ロゼ)

◆シニアドッグの部 (2002年10月26日)

順位	氏名	県名	犬名	犬種	ポイント
優勝	菅原 稔	東京都	ジュディ	ダルメシアン	55
準優勝	須藤 充	新潟県	チット	ミックス	47(24)
3位	井上 弘之	東京都	DIZZY	ボーダーコリー	47(14)
4位	佐倉 一吉	佐賀県	ウラン	ラブラドール	28
5位	横山 直正	静岡県	Q太郎	シェルティ	22
6位	高坂 健一	神奈川県	Sampoo	ラブラドール	19
7位	上瀧 浩一	千葉県	チャラ	ラブラドール	19
8位	吉田 勝巳	京都府	イブ	ラブラドール	12
9位	篠原 晴彦	新潟県	ライ	シェルティ	8
10位	関川 裕介	京都府	ケビン	ラブラドール	6
11位	平岡 哲夫	千葉県	フク	ラブラドール	5
12位	関口 由美子	東京都	サラ	ラブラドール	3



(左より) 準優勝 須藤 充&チット
優勝 菅原 稔&ジュディ
3位 井上弘之&DIZZY



ジュディ、8歳4ヶ月。こいつにとって、フリスビーは全てだと思う。
ジュディは、96年秋から全国の大会に参加し、97年から昨年まで5回のファイナルに出場して、私達家族に実に多くの友人と沢山の思い出を作ってくれました。そして、6回目のファイナルで『シニアドック日本一』という大きな思い出をまた一つ！

大会の会場で知り合った多くの仲間に応援され、そして祝福してもらい、ジュディは本当に幸せな犬です。

ファイナル会場で応援してくださった皆さん、本当にありがとうございました。

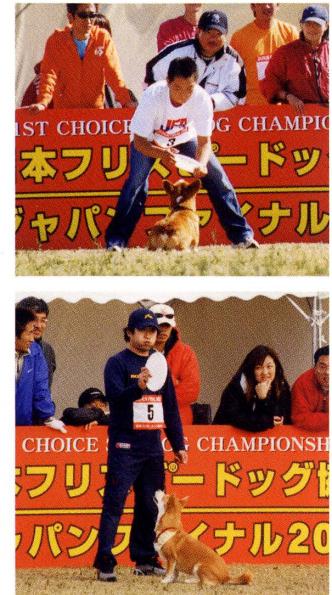
ジュディからフリスビーを取り上げることはできません。これからも皆さんと一緒にフリスビーを楽しんでいきます。

コートの中でフリスビーを追うジュディを見かけたら、また応援してやって下さい。

(菅原 稔&ジュディ)

◆小型犬の部 (2002年10月26日)

順位	氏名	県名	犬名	犬種	ポイント
優勝	上田 昌二	兵庫県	ルナ	ジャックラッセル	46
準優勝	加藤 宣文	千葉県	なな	ミックス	38
3位	吉岡 達浩	岡山県	ダージリン	ウエルシュコーギー	29
4位	柳 諭	広島県	ニット	ウエルシュコーギー	14
5位	関浩 寿	埼玉県	小太郎	ウエルシュコーギー	11
6位	四方田 竜	熊本県	太陽	ウエルシュコーギー	10
6位	畔出 裕隆	東京都	サニー	ジャックラッセル	10
8位	牧浦 嵩史	京都府	カロン	ウエルシュコーギー	9
9位	藤井 信子	東京都	すぷうん	ウエルシュコーギー	8
9位	木村 宏	東京都	マル	ウエルシュコーギー	8
9位	藤岡 耕治	茨城県	白足袋小一郎	ウエルシュコーギー	8
12位	早津 順子	千葉県	サエ	ウエルシュコーギー	6
13位	藤井 宏明	東京都	すぷうん	ウエルシュコーギー	5
—	梅田 良平	大阪府	コニー	ウエルシュコーギー	
—	佐藤 尚代	東京都	のん	ウエルシュコーギー	



ルナとフリスビーをはじめて2年、こんなに早くファイナルに出場できるとは思いませんでした。

2002年の初め、フリスビーをうまく投げることができず、4月の岡山大会で初めて小型犬大会で優勝したものの、前半戦は、低迷していました。

6、7月のクラブの講習会でフリスビーの投げ方を教えて頂き、後半戦は、安定はしていないが、何とか結果を残せるようになり、ファイナルにも出場することができました。

今年1年、色々とアドバイスをしてくださった皆様、本当にありがとうございました。

(上田 昌二&ルナ)



(左より) 準優勝 加藤宣文&なな
優勝 上田昌二&ルナ
3位 吉岡達浩&ダージリン

表彰式典



2002年度 年間最多獲得ポイントランキング1位
間 稔永&グラス



編集後記

今年の「ジャパンファイナル2002」も終わりました。

悪天候の中アクシデント続きでしたが、何とか全種目を終えることができました。

というのも、フリーフライト選手権はコートコンディションが悪く、やむなく延期開催となってしまったからです。

しかしながら、選手の皆さんには嵐も吹き飛ばす熱戦を見せて頂き、スタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。

さあ、あとひと月もすれば、2003年の開幕戦です。新しいシーズンの到来です。

昨シーズン、ジャパンファイナルノミネート権を惜しくも逃したチームも、新しいパートナーを迎えたチームも、来シーズンに向けてがんばって下さい。

大会で会えることを、スタッフ一同楽しみにしています。



JFA公認クラブ

各本部、支部、クラブでは講習会、練習会、ミニ大会を開催致しております。連絡先はJFA日本フリスピードッグ協会まで問い合わせ下さい。

関東本部・関西本部・千葉支部・神奈川支部・兵庫支部・福岡支部・東京支部・クラブ札幌・クラブ青森・クラブ岩手・クラブ仙台・クラブ茨城・クラブ静岡・クラブ愛知・クラブ三重・クラブ和歌山・クラブ瀬戸内・クラブ四国・クラブ熊本・クラブ沖縄

SKY DOG® SPORT

Vol.3

2002年 DECEMBER発行

発行所 日本フリスピードッグ協会
〒951-8133 新潟県新潟市川岸町3丁目20-6
TEL 025-234-2100
FAX 025-234-2101

ホームページ
<http://www.frisbeedog.co.jp/>

印 刷 新高速印刷株式会社

人間の寿命が長い理由のひとつは、食事から摂取するたん白質と脂肪が、理想的な比率であるからと言われています。私たちの70年にわたる研究の集大成であるプロプランは、たん白質と脂肪のバランスを、分子生物学や免疫学など様々な視点から徹底的に分析し決定しています。年齢や状態に合わせて最適な比率で配合された栄養は、効果的に愛犬の体のスミズミに行き渡り、より長く健康を支えていきます。あなたと愛犬の幸せが少しでも長続きするように。長い眼でみれば、プロプラン。ヒントは、人間の寿命の長さにありました。

人間の一生と同じ、と考える。



栄養がスミズミまで行き渡り、愛犬を守る。
ピュリナ プロプラン、日本登場。



【子犬用】



【成犬用】



【シニア犬用】

毎月1,000名様「プロプラン パピーお試しセット」プレゼントキャンペーン実施中!
プロプラン子犬用のサンプルをプレゼントいたします。ご希望の方は www.proplan.jp からご応募下さい。